

# 真砂小学校区コミ協だより

第30号

令和3年3月15日

発行:真砂小学校区コミュニティ協議会  
編集:真砂小学校区コミュニティ協議会広報部会

## 第30号掲載ご案内

- 【第一面】; 令和2年度新コロナ禍におけるコミ協報告 (高田豊会長)、第一回自治会長会議
- 【第二面】; 自治会紹介 真砂一丁目自治会、晴海ヶ丘自治会
- 【第三面】; 区政懇談会
- 【第四面】; 新潟市沖洋上風力発電事業に係る説明会、402号線飛砂の実態調査、第13回飛砂勉強会
- 【第五面】; 自治会紹介 松海が丘第一自治会、真砂二丁目自治会
- 【第六面】; コミ協部会報告、保安林連絡調整懇談会、編集後記

## 令和2年度新コロナ禍におけるコミ協報告

会長 高田豊



最後になりましたが今年も皆様方にとってより良い年になりますように願っております。

昨年はコロナウイルスのために事業計画がダメになり恒例のイキイキ元氣塾、真砂文化祭を中止せざるを得ない事態になりました。今年こそはと思っておりますが、第3波、第4波の発生などまだまだ落ち着かない状況です。真砂地区においては中心になる真砂小学校が10月に創立50周年を迎えます。実行委員会の皆様方が地域と一体でお祝いする行事を計画しているようです。真砂地域も住宅地として開発されてから60年以上たち、高齢化が西区でもトップクラスの地域になっております。今後一人暮らしの方の見守り、空き家対策など課題も多いですが、地域一丸で取り組み住み良い地域を維持しましょう。

## 第一回自治会長会議

令和2年9月27日午後1時から今年度第一回自治会長会議が坂井輪コミュニティセンターで開催されました。

議題一 高田会長より6月報告の今年度総会「議決」の訂正がありました。以下総票数42票(構成団体数31団体、役員数9名、会計監査2名)、総会の議決参加者数39名(92.9%)棄権3名(7.1%)で総会成立要件を満たしました。

議案		正	誤
第一号議案 「令和元年度事業報告並びに収支決算書」	承認 39 否認 0	承認 39 否認 0	承認 28 否認 0
第二号議案 「令和2年度事業計画並びに収支予算」	承認 39 否認 0	承認 28 否認 0	承認 28 否認 0
第三号議案 「事務局長退任」	承認 38 否認 1	承認 27 否認 1	承認 27 否認 1

議題二 今年度事業の件 新コロナウィルス感染症拡大防止のため今後のコミ協事業予定を休止したい。

## 議題三 防災行政無線局について

(新潟市役所危機対策課) 防災行政無線子局(同報無線スピーカー)の新設

1. 防災行政無線子局(同報無線スピーカー)について  
津波に関する警報・注意報、緊急地震速報など、市民の皆



スピーカー



無線機及びアンテナ収納箱

欠点	利点	狙い	第1案	第2案
地域外への影響が大	津波浸水想定地域外への影響が大	津波浸水想定地域外への影響が大	津波浸水想定地域外への影響が大	津波浸水想定地域内付近に限定して伝達
	伝達が可能	より広範囲に避難情報等の伝達が可能	対象地域を焦点に情報を伝達利点	津波以外の情報等も、津波浸水想定地域内付近に限定して情報伝達が可能(他地域への影響が小)
		子局全周に広く情報を伝達	対象地域を焦点に情報を伝達利点	津波以外の情報等も、津波浸水想定地域内付近に限定して情報伝達が可能(他地域への影響が小)

## 議題四 5. 防災行政無線子局(同報無線スピーカー)設置案

1. 本事業の趣旨  
平成29年発表の津波浸水想定で、発災後30分以内に浸水深が30センチを超えるような地域のうち、現時点で音達範囲外となっている地域をカバーするために、新たに子局を新設するもの。
2. 本事業の対象地域: 西区上新栄町一帯  
青山海岸海水浴場から五十嵐中学校に至る国道402号線南側約400mの地域※当該地域の現行スピーカー(旧型は3カ所(北から小針浜、松海が丘、上新栄町浜)新設候補地(2ヶ所)
3. 松海公園(西区松海が丘2丁目16-23)  
五十嵐中学校(西区上新栄町5丁目3-1)  
理由: 現行スピーカーの配置を考慮し、数カ所の候補地で音達範囲を検討した結果、対象地域を最も効果的に音達範囲に収めることができるため。

### 真砂一丁目自治会の紹介

当自治会は約170世帯、370人程度の規模ですが、西新潟中央病院で分断され、相互の交流が希薄となつていくのが現状です。

自治会の主な活動は、海岸一斉清掃の参加・会員親睦の日帰り旅行・小学校育成部によるラジオ体操・映画鑑賞会等があります。

今年度は新型コロナウイルス感染症の防止のため総会をはじめ活動自粛を余儀なくされ、実施できたのはラジオ体操のみでした。

特に日帰り旅行は楽しみにしている方も多く、中止は残念でした。また自主防災会は災害時等近所同士の助け合いが重要なことから組織を班単位の編成に変更しましたが、これも活動の自粛で組織の連絡体制・役割分担など文書での連絡にとどまっています。

各世帯に対しては真砂小学校避難所の実情と問題点・分散避難の考え方を回覧で周知し、各家庭での対応を話し合つて頂くようお願いしています。

当自治会の課題の一つ目は、自治会への関心度が薄く、役員選出にも苦勞しているところです。出来るだけ関心を持ってもらうため今年度より「真砂一丁目自治会だより」を発行し、自治会活動の広報や身近な話題の発信などを行っています。

二つ目は、町内に唯一ある「真砂けやき公園」の活用です。地域の方々の努力で、毎年春から秋にかけて草刈り等整備して頂いていますが、小さな公園で遊具もなくほとんどが活用されていないのが実情です。これを交流の場にできないかを模索しているところです。

当自治会も高齢者が多く、新型コロナウイルスの感染リスクを極力抑えることを最優先とし、しばらくは活動自粛をせざるを得ないと思つています。



### 晴海ヶ丘自治会の紹介

素晴らしきかな、晴海ヶ丘・会長 山田 日出男

こんにちは！晴海ヶ丘自治会です。晴海ヶ丘。良い名称でしょ？

きっとその昔、この辺りの丘の上から遠くを見るのと、晴れ渡りキラキラと輝く海が見えたのではないのでしょうか！

142世帯（約340人）が所属している当自治会は西新潟中央病院の東側に位置しています。海抜が平均20mの高台ですので、毎年9月に行われる防災訓練では水平避難を基準としており、家屋が無事であれば自宅に留まり、安否確認のための黄色い旗を玄関先に出します。他にも消防士、消防団の指導のもと、消火器を使用した消火訓練、AEDの体験もします。

さて、ここには「晴海ヶ丘テラス」、通称「ハルテラ」と呼ばれる場所があります。増えてきた空き家を有効活用するため、空き家を借り受け、テラスを作り、平成29年に完成しました。

現在は館長が中心となって運営を担ってくれています。ここは地域の皆様にとつて大切な場所となっております。

（主なイベント）

- 2月「ウェルカムパーティー」：引越してこられた方々の歓迎会や地域の方同士の交流会
- 7月「七夕地域子ども会」『星に願いを夕涼み会』
- 8月「ビールDe乾杯・BQ」：町内一斉清掃の後「はるみがおかにここ公園」でのお疲れ会
- 12月「子どもクリスマス会」「大人のクリスマス会」「イルミネーション点灯式」

また、講師を招いた様々な健康講座や体操を定期的に開催したり、皆さんが自由に集まって茶話会をしたり！ここには書ききれませんが、他にもたくさんイベントがあります。

「はるみがおかにここ公園」はハルテラの向かいにあり、ここもまた憩いの場となっております。四季の花を植え、子供達が遊べるように土の斜面に滑り台を作りました。段ボールを敷いて滑ったり、雪が積もれば最高に楽しい滑り台になります。

このように、一年を通して様々なイベントと共に楽しい晴海ヶ丘の時間が過ぎていきますが、昨年から新型コロナウイルスの影響でほとんどが中止、もしくは縮小せざるを得ない状況が続いています。一日も早くこの事態が終息することを願っています。また皆さんと一緒に楽しく過ごせる笑顔の毎日が戻りますように★



「ハルテラ」での談笑と「はるみがおかにここ公園」(左下)の憩いの場面

### 「全員参加型自治会づくりを目指して」

会長 園田 和廣

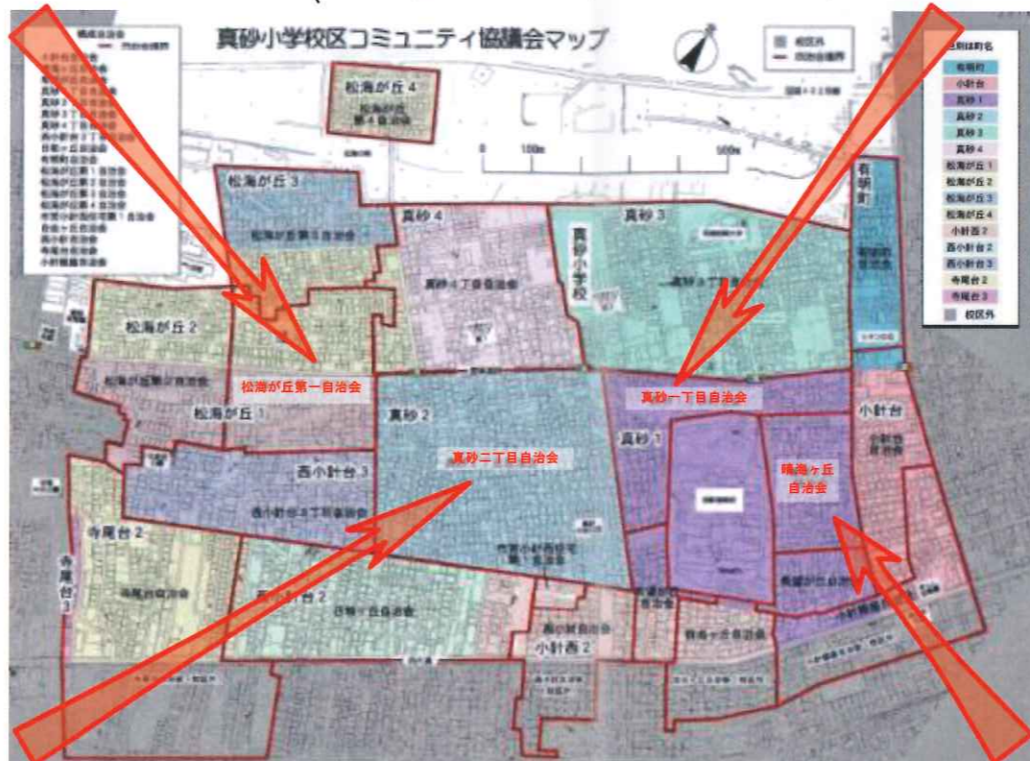
### 松海が丘第一自治会の紹介

我が自治会は、国道402号線を中心とし松海が丘一丁目・同二丁目(各々一部)を範囲とし、約240世帯を13班体制に組織しています。その運営体制としては、会長並びに総務担当及び技術担当の2名の副会長、防犯部長、環境部長などの役員を中心として、組織の運営をはじめ、行政機関等からの要請事項や自治会員からの要望事項などについて、協議のうえ対応しています。

地域活動の活性化や、住民相互の親睦を図ることを目的として、例年町内一斉清掃をはじめとした各種事業を実施してきました。しかしながら、皆さまご承知のとおりコロナ禍による行政からの活動自粛要請がありました。こうした中、コロナに対する留意事項の徹底を図りながら、また自治会員の協力により、海岸清掃や新年会などの一部事業は残念ながら実施できなかったものの、松海公園等の植栽事業、敬老祝い事業、町内一斉清掃などは実施することができました。

次に防犯・防災事業ですが、相変わらず頻発するオレオレ詐欺や豪雨災害、強風による被害、が近年各地で多発しています。こうした状況を踏まえ、住民が野外避難をした場合を想定し、テント関連用品の充実を図るとともに、野外での電気需要に対応するため、自家発電機を増設購入いたしました。また、多様化する災害に備え、必要とする防災用品を購入するとともに、その収納庫を購入するなどその拡充を図っています。

自治会は一定の地域の住民により組織される親睦・共通の利益の促進、地域自治を確保するために集会・会合等を行う団体とされています。しかしながら、自治会を取り巻く環境は、住民の高齢化をはじめ、核家族化による共働き世帯の増加など大変厳しい状況にあります。これからの自治会のあり方としては、高齢者や若い人たちが(勤労者や主婦など)が一体となって、積極的な自治会活動を行えるような仕組み作りを検討し、全員参加型の自治会づくりを目指していく必要があるものと考えています。



### 安心して住みよい自治会を目指して

会長 井比進

真砂二丁目自治会は574世帯を抱え、真砂小学校区コミ協傘下では最も世帯数が多く、7組55班体制の自治会です。①明るい環境・住みよい町づくり②防災力・防犯力を備えた安全・安心な町づくり③生き生きと、若さみなぎる町づくりの3項目をスローガンに、活動を展開しています。

年間行事としては、春に実施していた市内の施設見学を見直して、観光バスを利用した「名所見学ツアー」、会員交流事業として、9月に会員誰でも参加できる敬老会を兼ねた観光温泉巡りの「敬老祝賀会」、毎年1月開催の「新年祝賀会」の3行事をメインに行っています。

### 真砂二丁目自治会の紹介

一方担当幹事活動については、環境整備担当の4月真砂二丁目一斉清掃と8月の西区一斉クリーンデーに合わせた公園清掃・草刈り、31箇所44基あるごみステーション見回り・修繕・交換、春・秋の年2回、「燃やすごみ袋10L」5袋を全世帯に配布しています。

親睦福祉担当はメイン行事以外に春・秋の植栽、防災担当は年1回の防災訓練を実施。昨年度は地震車の利用による東日本大震災の震度を体験し、貴重な体験をすることが出来ました。また秋には2基ある防災倉庫の点検・整理を実施し、補助金による防災用品等の追加も行っていきます。

当自治会では2か所の駐車場を管理しており、駐車場管理担当が利用者との手続きや、会計を行います。

収入の一部は自治会の運用費として活用しています。育成部は夏休み期間にラジオ体操と子供会日帰り旅行を実施し、年度末には真砂小学校1年生に入学祝いとして防犯ブザーと図書券のプレゼントを継続しています。

当面の課題としては、他自治会同様に高齢化が進み高齢者世帯が増える中で「頼れる身寄りのない方への支援」と「施設入居に伴う空き家問題」です。幸いにも2名の民生児童委員によるフォローが十分になされていますが、今後も情報を共有して暮らせる地域づくりに取り組むたいと考えます。



平成31年1月20日 新年祝賀会

平成29年9月13日 敬老祝賀会



## 区長との地域課題意見交換（区政懇談会）

区政懇談会は従来区長参加のもと予め提案された「地域課題」への区長等関係担当課からの回答がなされ、課題提案側との意見交換がなされて来たが「新型コロナウイルス禍」対応のため書面回答となり意見交換は行われなかった。

令和2年度 真砂・小針地域の都市計画事業への要望

## ① 青山海岸の飛砂対策と今後の地域取り組みの目途

### （意見）小針台自治会

飛砂問題は、この地域に限らず全国的に明確な改善策は現在ありません。そこに住まわれている自治会としては大きな問題であるが、これまでの対策で一定の形で成果は確認できたと考えます。その事業にかかる費用を他にあげないものでしょうか。

例えば、当自治会も毎年困っている問題があります。赤道の整備です。地域の生活道であり多くの自治会の方々が利用します。是非早急なる整備をお願いしたいと要望します。



### （回答）西区建設課

国道402号では、現在でも飛砂により、交通障害や一時的な排水不良による水溜まりなど道路を維持管理するうえで非常に苦慮しているところ。他方、人工堤防を築造したことにより松海が丘四丁目付近の住宅への影響は低減してきましたが、今後も飛砂対策は継続的に対策していく必要があります。

また、赤道の整備要望については、ご指摘の通り、複数の自治会に接していることから、各自治会と要望内容について、意見調整していただいたうえで、お知らせ下さい。なお、赤道は現状維持を基本としており、市道と同等の整備が困難であることは、ご理解いただきたいと思えます。

## ② 地域を東西に分断している越後線と渋滞問題

### （意見）小針台自治会

この地域は以前から渋滞改善を要望しているが、道路事業及びeマップを見てもなら変化がなく、地域への都市計画事業が全くありません。4年越しの要望

で、最近小針線における電柱移設が一部着手されたのみです。せめて、小針駅前開発に絡め、東西に分断している越後線の前後にある押しボタン式信号を、それぞれの手前にある十字路と連動式に改善できないでしょうか。

### （回答）西区建設課

小針線の交通渋滞については、西区においても認識しており、この解消のため、西大通りより日本海側においては、既存道路内の電柱を民地側へ移設することで、交通の円滑化を図っています。

次に、小針線とJR越後線の交差する前後の押しボタン信号を西大通り及び（主）新潟亀田内野線の信号機と連動式に改善できないかについては、信号機を所管する西警察署へお伝えします。

## ③ 高齢化に伴う免許証返納とスパー無店と

### （意見）小針台自治会

この地域にはスパーが無くなり、皆買い物難民となり、すり足状態で重い買い物袋を持ちながら歩いている免許証を返納した方が増えてきました。そもそも区バスになる前のQバスは、住民の不便さを解消するための足として発足していたはずであり、松海が丘四丁目方面の裏道も走るに当たりバスの小型化が必要視され要望されていたはず。

小型化されれば新潟中央病院への乗り入れもすると、ある市議は市報並びに会報で報告していました。小病院内乗り入れは何年も話し合いをしてきました。小型化が出来た今、営利だけではなく住民が利用しやすい場所への停留所の確保設置、及びルートを是非前向きに実現していただくよう要望します。

### （回答）西区建設課

区ではQバスの区バス移行後の利便性向上に向けて、平成30年に利用者及び真砂小学校区コミュニティ協議会の区域も含む沿線住民にニーズ調査を実施しました。この結果、当該バスを週5回以上利用する人はルートの変更を希望しておらず、週1〜4回利用する人は西新潟中央病院よりも今後整備を予定している小針駅

前広場への乗り入れの希望が多いことがわかりました。病院への乗り入れについては、これまでの病院や運行事業者との協議の中で、区バスを存続する収支率を維持するためにはニーズの詳細な把握が必要なこと、安全な運行には旧402号線に新たな信号機を設置及び停止線の後退が必要なこと、運転士の労働時間をこれ以上増やすことが困難なこと、など複数の課題があることを確認しています。

引き続き、関係者とともに協議してまいります。区としては、まずは先に挙げたニーズ調査の結果を優先的に検討していきたいと考えています。

今後も、利用者や沿線住民全体の利便性向上につながるように改善に向けた検討を進めてまいります。

## ④ 新潟市総合ハザードマップについての要望

### （意見）真砂三丁目自治会

最終ページの一時避難所に、西新潟中央病院が載っていることとありたいです。「市からも認知されている一時避難場所」ということになる方がよいと真砂三丁目の住民からの声が上がっています。公園しか載せない、という方針があるのでしょうか？

令和元年度 自治会長が招かれた病院との懇談会で真砂小学校区の自治会とは一時避難所として利用してもらってよいという協定書を交わしてあるとお話しをお聞きしました。真砂小コミュニティのように市と西新潟中央病院の間のパイプをつないで頂けたらありがたいです。

### （回答）西区総務課

新潟市の総合ハザードマップは、誰でも自由に見ただけのよう広く配布、ホームページでも公開している為、新潟市で正式に指定している避難所、一次避難場所を掲載しています。

そのため、地域独自の協定などに基づく避難場所は掲載していませんが、西区では、希望する地域ごとにオリジナルの「地域のハザードマップ」を作成しています。

真砂コミ協内でも、平成30年度に真砂一丁目、二丁目、四丁目などの地域で作成しており、そのマップでは、西新潟中央病院も一時避難所として掲載しています。作成を希望する地域は、引き続き区として支援していきますので、総務課安心安全係までご相談ください。

## 新潟市沖洋上 風力発電事業に係る説明会

1. なぜ、今、洋上風力発電なのか  
 説明 三井不動産・三菱商事パワー株式会社

### ①地球温暖化の影響

化石燃料の利用を減らし、温室効果ガス排出量の減少が見込まれる。温室効果ガスの増加は地球温暖化を進め、気候変動と気象災害の増大など、深刻な影響を及ぼす。

### ②エネルギーの自給率向上

日本はエネルギー資源を他国に依存しており、国際情勢に影響をうけやすい。

### ③国の再生可能エネルギー取り込み方針

2030年度の電源構成比率を22〜24%程度に、さらに2050年には主力電源化を目指す。

## 2. 新潟市沖を事業予定候補とした理由

①新潟県・新潟市の再生可能エネルギーへの取組み  
 「新潟県総合計画」

再生可能・次世代エネルギーの活用促進  
 「いがた未来ビジョン」

資源循環型社会への取組み・低炭素型まちづくり  
 新潟市環境基本計画(第3次)

### ②風況

平成9年3月の調査では、新潟市沖の年間平均風速は7.1m/s程度で、風力発電に適している。

### ③水深と地盤

新潟市沖の水深は概ね、海岸線から沖合1kmで10m、沖合5kmで50m。海底は砂泥系の地盤で、施工に適した水深と地盤である。

## 3. 事業概要

事前調査、及び関係者への説明・協議を踏まえ検討し、洋上風力発電事業の実現可能性を評価する。五十嵐浜沖から巻漁港沖までの区間を想定。

## 4. 事業を検討していく上での課題

「騒音」「災害時の安全性」「景観」「生態系」

## 5. 自治体を取り組む意義 自治体SDGsの推進 (防災・環境の諸課題解決と経済成長)



## 402号線(海岸道路)の 飛砂の実態を調査する

10月28日午前10時から区建設課3名、松海が丘第四自治会長、コミ協生活環境部会長ら2名で「夕焼けこぼり」から人工砂丘(628m)更に上手の風力発電の風車まで調べた。

人工砂丘では丘の上部は竹垣が埋まるほど砂が溜まっている。雑草も生えてなく飛砂が付き法面が膨らんでいる。トンネルの両サイド法面への吹付(泥に草の種の混ぜ物)はそれなりに草が繁り一定の効果があった。法面道路側は継続して草木植栽等が必要。人工砂丘は場所により変化が違うのでキメ細かな対策が必要。風の通り道と思われる風車の所などの対策が必要。道路海側の柵のカサ上げは効果があり、今後も継続が必要。このような事を確認した。

## 第13回飛砂勉強会を開催

令和2年11月13日午後1時30分より、西区役所対策室にて第13回目となる飛砂勉強会を開催。

国交省信濃川下流事務所、県治山課、新潟地域振興局、西区建設課、西区農政商工課、松海が丘第四自治会、コミ協二役と生活環境部会、計17名が参加。会議は根本生活環境部会長の進行で進められた。

コミ協高田会長から、「皆さんのご協力で継続的に取り組み大きな成果を挙げてきましたが、自然相手の課題ですので延々と継続していかねばならないと思います。今後も協力をお願いします」と挨拶。

## ・コミ協からの報告

1. 前回会議(令和元年2月6日)以降の活動:  
 浜ニクは2回植栽。令和2年5月のコミ協と区の意見交換会に要望書提出。令和2年10月28日に飛砂の実態調査。これを生かした対策。
2. 今後の活動:人工砂丘の保守・管理。浜ニクに替わる植栽の検討。
3. トンネル先の海岸汀線の浸食:汀線が大きく陸側に後退している原因。

## ・松海が丘第四自治会

これまでの対策をカラー写真の資料で説明。

○トンネルの両側面、法面へ種の吹き付け、今後は法面にハマゴウを植栽。道路海側の柵を3mの高さにする。

○人工トンネルの減災効果は大きく、自治会の浜辺での朝食会等、浜辺利用が楽になった。人工砂丘を先に伸ばせな

いか。

○「松海の森」で草刈りなどしている場所は、松喰虫の駆除ができないか。

・区建設課に資料に基づきこれまでの飛砂対策を説明。特にトンネルの構築は減災に効果。道路脇の飛砂防護柵を2.5mを3mに引上げて一定の効果。今後も継続。10月28日現地視察で人工砂丘のメンテナンス箇所確認、ハマゴウ植栽予定(令和3年3月頃)

・区農政商工課に保安林の松喰虫の駆除はヘリコプターで薬剤散布している。年2回実施

・国交省信濃川下流事務所に昭和52年有明工区(基点関屋分水)直轄事業で約8kmの工事(人工リーフ、離岸堤)は完了したがモニタリングしている。週一回海岸巡視をしている。小針浜の浜ニク植栽の手伝いをしていく。金衛町浜の養浜計画もある。

・県治山課に海岸林の保全の為「前線マツ林」「マツ安定林」「マツ広葉樹混交林」3つの区分けをし、林相別に整備を行っている。

・県新潟地域振興局に西区海岸保安林における治山事業を説明。今後5ヶ年計画作成中。森林病害虫の駆除(県有地)を実施している。松海の森の害虫駆除は住宅地に隣接しているためできないがコンサルタント会社に検討してもらう。

これらの報告にもとづき論議がなされ、今後も関係団体、地元が協力しあつて活動を継続することを確認した。

2019.3.23 飛砂防止、浜ニク植栽



## 第10回上新栄町

### 保安林連絡調整懇談会開かれる

2020年10月30日午後、真砂会館において表題の会議が開かれました。前回2018年7月の第9回会議から2年3ヶ月ぶりの会議でした。

会議には、県治山課と新潟地域振興局、市農林政策課、区農政商工課、自治会から真砂三・四、松海が丘第三・第四、有明町と保安林隣接住民、コミ協会長と生活環境部会長の16名が参加。開会にコミ協高田会長が「皆さんの協力で保安林の整備が順次進んでいることに感謝。今後コミ協の大きな課題として進めるのでご協力をお願いしたい」と挨拶。会議の進行は根本部会長がすすめ、各団体等から報告を受け論議しました。

コミ協が活動開始(2007年)後、2・76haが整備・植栽された。まだ未整備を多く残しているので全体の整備が終わるまで活動を継続する。

県には、整備に同意しない地権者全員に整備同意の訴えをする事と、同意が得られた所から整備を進める事を要請。

(2020年9月4日、県にコミ協から整備促進の要望書を提出した)。

○県の発言は、今後も継続して整備を進める、保育も進めることを報告。

○市は保安林の松喰虫の防除活動を報告。

○区は松喰虫による被害木の伐採をしていることを報告。

質疑では

#### ★松海が丘第四自治会

①「松海の森」の大雪で折れた樹木は危険なので撤去してほしい。土留めの板が腐食しているので直してほしい。

・振興局の答え⇒現地を見て対応したい。

#### ★真砂三丁目自治会

①未整備の保安林所有者には、地元の声(文書)と県の要請文と一緒に送付するのか。

・振興局の答え⇒そのようにする予定。

#### ★有明町自治会

①現在の上新栄町保安林を「保健保安林」にできないか。

・県の答え⇒住民からの要望や条件が満たされないと難しい。

②現在駐車場のようになっていいる所、放置してよいのか。

・県の答え⇒保安林は駐車場として利用できないので警告が必要。

#### ★真砂四丁目自治会

①土地所有者は利用できないので早期に全部整備するよう。

#### ★地元住民

①未整備を今後どうすすめるのか?道筋を示してほしい。

・これらのまとめとして地権者への整備同意の働きかけを急ぎ、同意を得られた所から整備を進めることを確認しました。

## 第7回 真砂コミ協杯ゴルフ大会開催される

令和2年10月26日新潟カントリー倶楽部で開催されました。

晴天の下27名の参加者が日ごろの鍛錬結果を發揮すべく戦いました。

◎優勝チームは松海が丘Aチーム(大谷勇、馬目正、北村多加誌、宮島秀雄の諸氏) ネット平均73・8の優勝でした。

◎個人優勝は鈴木弘氏(松海が丘Bチーム) ネット70・4の成績でした。



優勝チーム 松海が丘Aチーム  
(大谷勇、馬目正、北村多加誌、宮島秀雄の諸氏)



個人優勝鈴木 弘氏 (松海が丘Bチーム)

### 編集後記

終息の見えない新型コロナウイルスの感染拡大も、11都府県に対する第2次緊急事態宣言の発出となつてしまいました。コミ協、各自治会活動も自粛に伴う停滞を強いられています。コミ協だよりにシリーズ化されてきた「自治会紹介」の明るい話題を届けて頂いた4自治会の会長様方には感謝申し上げます。ワクチン接種のさらなる平準化を期待して「2020東京オリンピック」が無事開催されます様に望みたいものです。